



「貢献」・・・役に立つ喜び！

南帷子小学校長 竹内 久美子

本年度は、新型コロナウイルス感染症により、いろいろなことが制限される中での教育活動となりました。しかし、どの学年も、子どもたちが楽しく学校へ来てくれるよう、日々の授業や学年の活動を工夫して行ってきました。特に、1月以降は、「この子たちが、新学年に進級して活躍していけるために、どんな力を付けてあげなくてはいいか。」を考えて指導することを大切にしました。

- ◆ 支援学級では、勉強や掃除、給食や仲間づくりなど、いろいろな面で一人一人の成長を感じることができました。どの学級も、爽やかな挨拶ができ、「大丈夫」「お先にどうぞ」などの「あったか言葉」がいっぱいです。心の優しい子へと成長しました。
- ◆ 1年生は、何でも自分たちで、できるようになりました。漢字や計算もできるようになり、ノートに丁寧な字を書くこともできるようになりました。友達のいいところもいっぱい見つけて、温かい心も育ちました。
- ◆ 2年生は、自分たちでめあてを決めたり、仲間の「はなまる」を見つけたりして、毎日の生活の中で、よびかけたり、それに応えたりすることの大切さを学びました。1年生に「チェッコリ玉入れ」のダンスを教える姿は、立派なお兄さん、お姉さんでした。
- ◆ 3年生は、1年間通して、毎月の重点目標を意識して生活しました。「あいさつ」や「席チャイム」「ごみ0掃除」など、当たり前に行えるように仲間でよびかけ合いました。3年生の静かな掃除姿は、全校のお手本です。
- ◆ 4年生は、係活動を活発に行いました。「よりよい生活になるために、仲間が楽しんでくれるために、どんな活動をしたらいいか。」とアイデアを出し合い、仲間と共にやり切りました。この力は、5年生での委員会活動で発揮されることでしょう。
- ◆ 5年生は、「6年生ありがとうの会」の企画・運営を通して、最高学年になるという自覚とスキルを身に付けました。ただ役割を果たすのではなく、「6年生に感謝の気持ちを伝えるためには、どうしたらいいか。」を考えて取り組みました。頼もしいリーダーに育っています。
- ◆ 6年生は、中学校に向けて、日々の学習や生活を大切にしてきました。また、「巣立ちの活動」として、学校中の大掃除、特別教室等のプレートづくり、「コロナに負けない応援メッセージ」の掲示づくりなどをしてくれました。黙々と大掃除をする姿、教室プレートの完成度の高さ、思い思いのコロナメッセージから、子どもたちの「感謝」の気持ちが伝わってきました。最後まで、最高学年として頼もしい姿でした。



こんな子どもたちを讃え、先日、各学級に「頑張ったね賞」の賞状を渡しました。子どもたちは、「仲間と共に頑張る」「仲間のために頑張る」という経験を積み重ね、「貢献すること・役に立つことの喜び」を実感できたと思います。そして、今の学級で、誰もが大切な子であり、誰もが欠かせない子であることを認め合うことができたと思います。

6年生は、立派に卒業し、中学校へと進学します。小学校での経験を活かし、中学校でも、大人になっても、仲間のために、地域のために貢献できる人へと成長してくれることと思います。中学校の先生方、地域の皆様、今後も、子どもたちへのご指導、ご支援をどうぞ、よろしく願いいたします。

保護者・地域の皆様へ

本年度は、行事の中止や縮小等で、子どもたちや家族の方々、地域の方々、残念な思いをさせてしまったことが多くあったと思います。それでも、本校の教育活動に、ご理解ご協力をいただき、温かく見守っていただけましたことに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

